

新たな価値創造へ挑戦

萬運輸「変化激しい年」展望



萬運輸（東海林憲彦社長、横浜市鶴見区）は10

日、本社に同社グループの社員を集め、「萬運輸グループ新春の集い」を開いた。東海林社長が2026年のスローガンとして「変シン」変化を楽しみ、シ

「25年は変化の目白押しだった」と東海林社長

力を果たす」を示し、新たな価値創造への挑戦を呼び掛けた。

東海林氏は「25年は高市内閣が発足し、物流業界に關係する法令も改正され、変化の目白押しだった。26年も、中小受託取引適正化法（取適法）の施行や新物

流2法の義務措置の適用のほか、自動車整備に関する法令改正もあり、昨年以上に変化の激しい年となる。運送の許認可の条件に適合しない事業者は事業を続けられなくなるだろう」と展望。

その上で、スローガンに掲げた「シンカ」には、「進化」「真価」「深化」「伸化」「新化」の意味があることを説明し、「市場環境の変化の中で対応力を付け、新しい価値をつくり出すことが大事。例えば、

中継輸送や業務のデジタル化、自社が持つ情報を生かして新たなサービスにつなげるなどがある。変化を楽しみ、新しい価値創造へ果敢に挑戦してほしい」と話した。

（吉田英行）